

令和6年における火災の状況

令和6年中の火災の状況について、確定値を取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

総出火件数は247件で、平成以降で3番目に少ない件数となっています。

① 総出火件数は、247件、前年より1件の増加

総出火件数は、247件で、前年より1件増加しています。

火災種別で見ると、建物火災は158件で5件増加、車両火災が23件で6件増加、林野火災が1件で1件増加、その他の火災が65件で11件減少となっています。

住宅火災件数は100件で前年より14件増加しており、建物火災の63.3%が住宅火災となっています。

② 死者数は9人、前年より5人減少

火災による死者数は9人で前年より5人減少しており、負傷者数は50人で前年より11人増加しています。

③ 住宅火災による死者（放火自殺を除く）数は7人、前年より3人減少

住宅火災の死者（放火自殺者を除く。）数は7人で、前年より3人減少しています。

④ 出火原因の第1位は「こんろ」、「放火（疑い含む）」、第3位は「電気機器」です。

総出火件数の247件を出火原因別にみると、「こんろ」、「放火（疑い含む）」が各35件（14.2%）、次いで「電気機器」が24件（9.7%）の順となっています。

※ 火災予防のポイント

- 1 こんろを原因とする火災は、使用放置や清掃不良などの不注意によるものがほとんどです。調理中はその場を離れない、こんろの近くに燃えやすい物を置かない、グリルをこまめに清掃するなど、日頃の習慣と使用方法に気を付けましょう。
- 2 住宅火災からの逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置しましょう。また、住宅用火災警報器は精密機械ですので、定期的に清掃・点検などを行い正常に作動するか確認しましょう。
- 3 放火の多くは、ごみ集積所や公園、住居の敷地内などの屋外です。家の周りに燃えやすい物を置かない、ごみは収集日の朝に出す、車やバイクのカバーは防炎品を使用するなど、地域ぐるみで放火されない環境づくりに取り組みましょう。
- 4 モバイルバッテリーなどのリチウムイオンバッテリー等を搭載した製品は、衝撃や分解・改造により発火する危険があるため、取扱説明書に定める取扱い方法を守りましょう。

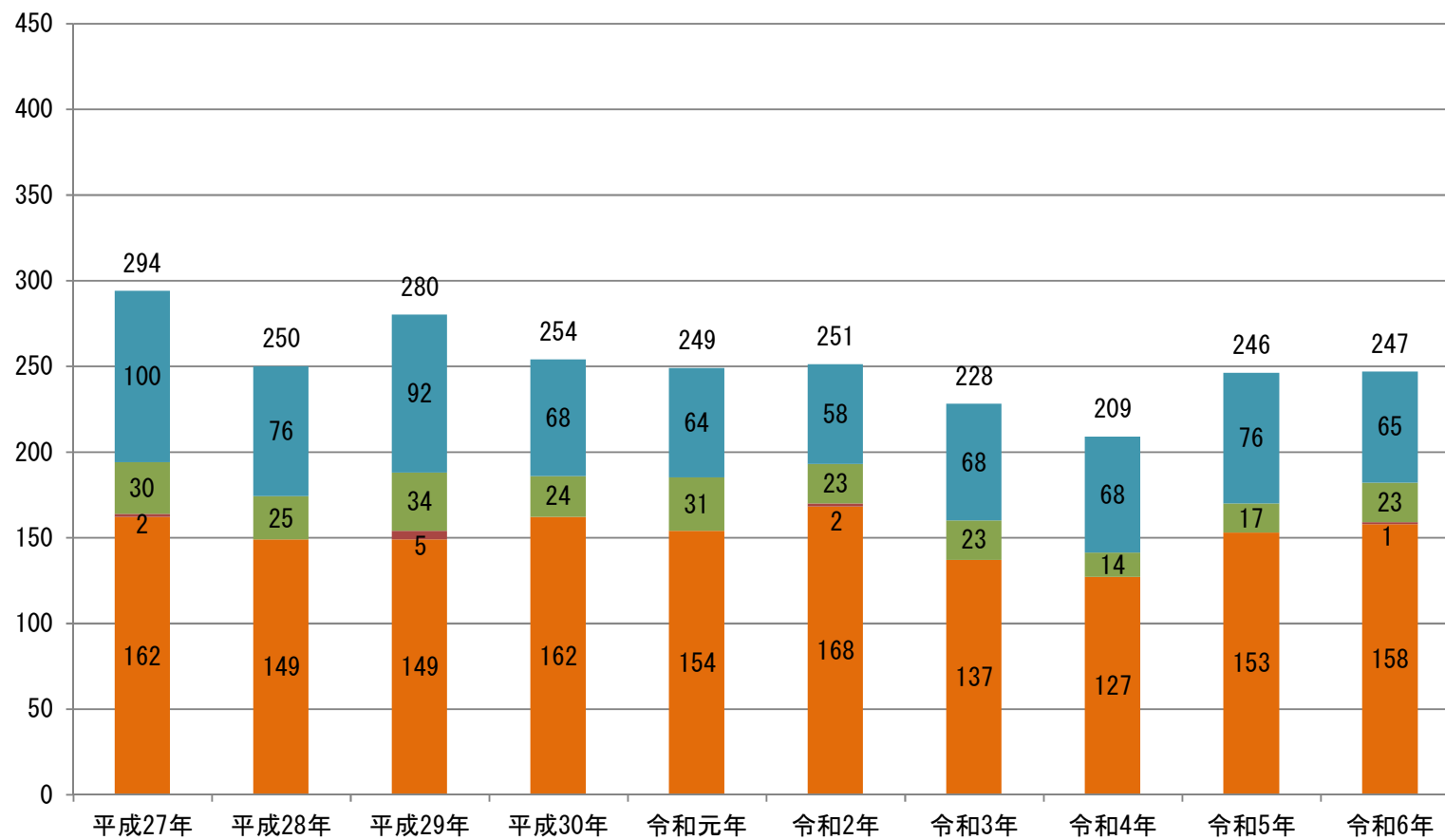
処分する際は、電池の電極や製品の端子部分にテープ等を貼り、絶縁したうえで透明な袋に入れてから、「缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類」の収集日に黄色の回収箱に捨てましょう。また、区役所や総合支所などに設置している「充電電池等回収ボックス」等に持ち込むなど、正しく処分しましょう。

令和6年と令和5年の火災件数等の比較

	令和6年	令和5年	前年比	
出火件数	247	246	1	
建物火災	158	153	5	
(うち住宅火災)	100	86	14	
車両火災	23	17	6	
林野火災	1	0	1	
船舶火災	0	0	0	
その他の火災	65	76	-11	
火災による死者数	9	14	-5	
火災による負傷者	50	39	11	
住宅火災による死傷者数 (放火自殺を除く)	7	10	-3	
(うち65歳以上の高齢者)	6	7	-1	
原因別出火件数 (上位5位)	こんろ	35	28	7
	放火(疑い含む)	35	34	1
	電気機器	24	16	8
	電灯・電話等の配線	21	31	-10
	たばこ	19	30	-11

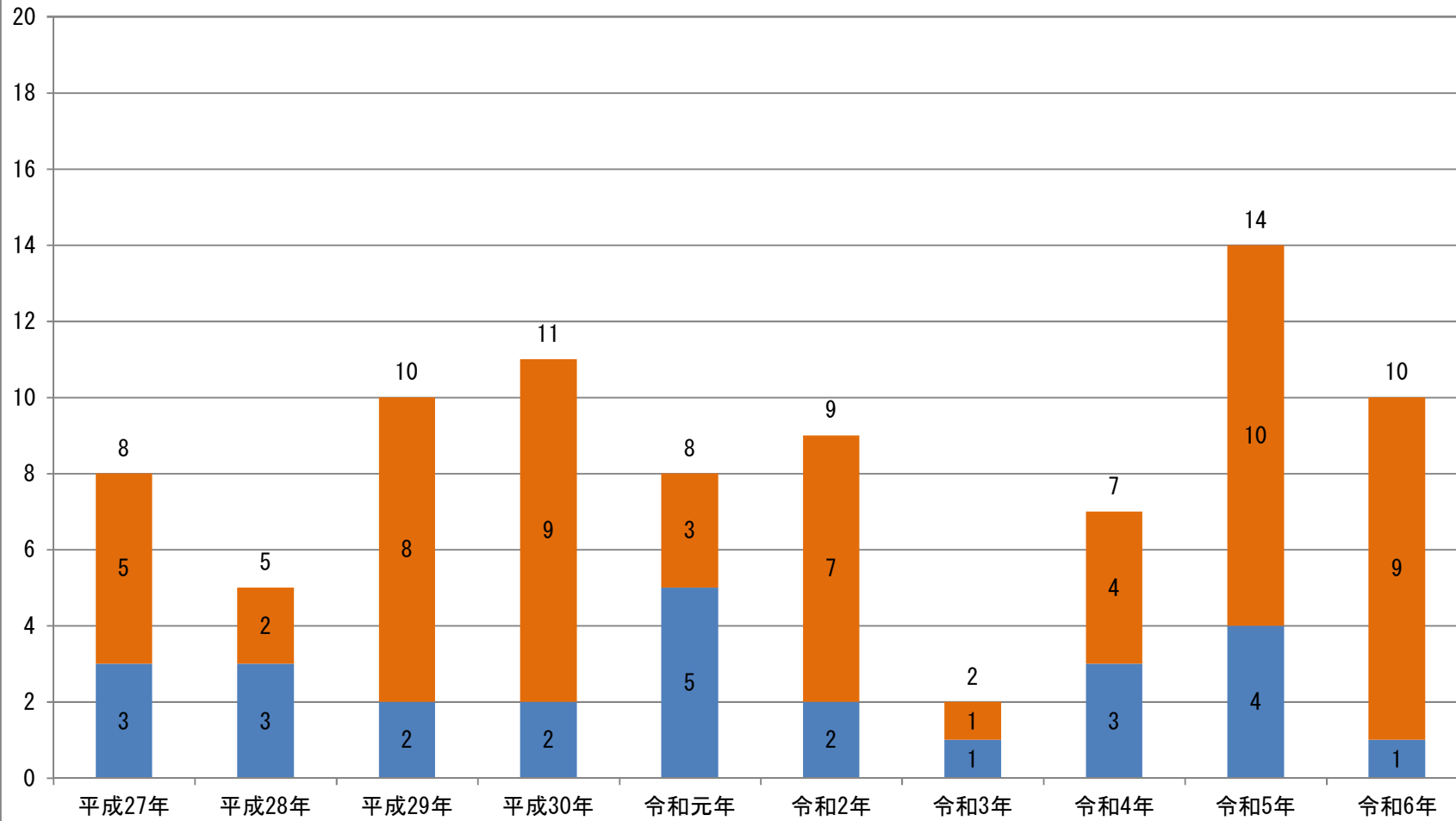
過去10年間の火災の推移

■ その他火災 ■ 車両火災 ■ 林野火災 ■ 建物火災



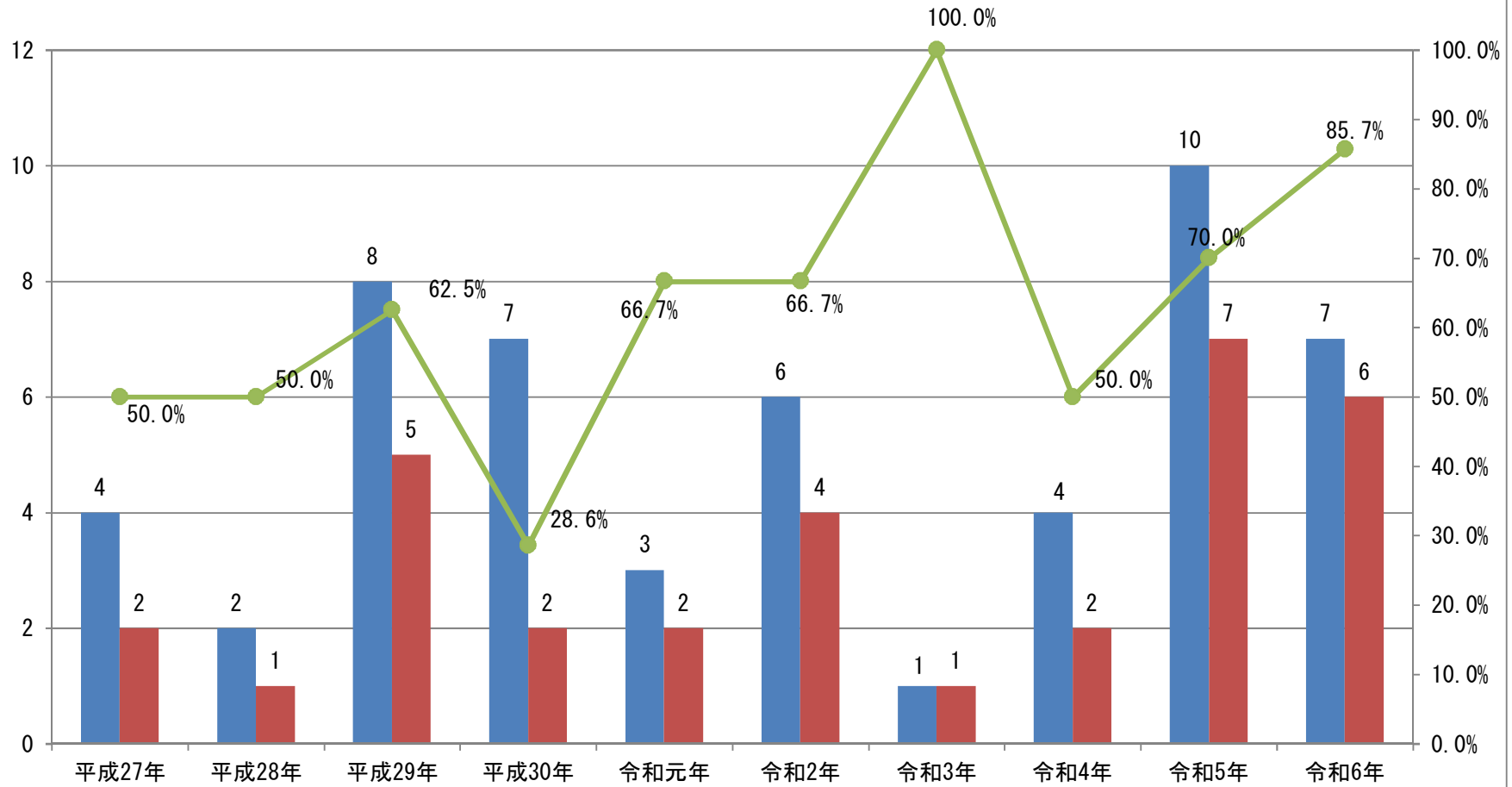
過去10年間の死者数の推移

合計 ■ 放火自殺者を除く死者数 ■ 放火自殺者数



住宅火災における死者数の推移（放火自殺者を除く）

■ 住宅火災による死者数 ■ 住宅火災における高齢者（65歳以上）死者数 ● 高齢者（65歳以上）死者数の割合（%）



出火原因の内訳

